

東日本区地区会開催



平成28年10月27日、ホテルメトロポリタン仙台において、JISA 東日本地区会例会（代表幹事：早坂栄二／東北インフォメーション・システムズ(株)取締役社長）が開催され、28名が参加した。

早坂代表幹事から次第の説明と開会の挨拶があり、続いて経済産業省 東北経済産業局 地域経済部 情報・製造産業課 有路正浩課長から「第4次産業革命において、地方の中小企業の対応が重要なポイントになる。北海道・東北の地域間連携を深めて、攻めの情報サービス産業として、地域の発展のためにさらに活躍してほしい。」と挨拶があった。

議事に入り、まず経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 上松真也課長補佐から、今起こっているデータ駆動型社会の到来について、また先進的IoT産業モデルの創出や人材、セキュリティ、オープンデータなど経済産業省が進めている情報政策の概要について説明があった。

次にJISA 小脇一朗副会長・専務理事から、昨年秋に発表した「JISA Spirit—ソフトウェアで『!(革命)』を」を具現化する取組、働き方改革推進や中小・地域の飛躍のための基盤づくり、グローバル展開やスキルシフトの円滑化などJISAの活動についての報告と、先日とりまとめられた「未来を展望する」委員会報告についての説明があった。

最後に、北海道地区の東原浩理事((株)HBA 常務取締役)から甚大な被害をもたらした台風や北海道新幹線開通の北海道経済への影響について、早坂代表幹事から集中復興期間から復興創生期間に移行した震災復興と東北経済の状況について報告があった。

休憩を挟んで、農業生産法人(株)GRA 岩佐大輝代表取締役 CEO による講演「匠の技とITの融合～復興を超えた創造への道」が行われた。岩佐氏は震災により大きな被害を受けた出身地山元町の復興のために、ITを駆使してブランドイチゴ「ミガキイチゴ」を生み出したこと、インドの貧困地帯でイチゴ栽培を成功させ、新たな雇用を創出したことなどについて話した。



岩佐氏は仕事をする上で大切にしているのは「まず動く」こと、「ひとりではなくチームで物事を進める」こと、「多様性を受容する」ことだと語った。

関東地区会開催



平成28年10月28日、ホテルクラウンパレス甲府において、JISA 関東地区会例会(代表幹事:梶本繁昌/(株)アイネット 代表取締役社長)が開催され、40名が参加した。

梶本代表幹事から「IoT、ビッグデータ、AI、ドローンなど我が業界は話題に事欠かない。また、女性の活躍やテレワーク推進など

ITが不可欠な時代になってきた。『ITで!(革命)を』を掲げているが、後年、2016年がターニングポイントだったと言われるかもしれない。JISA会員が切磋琢磨してシナジーを発揮していきましょう。」と挨拶があった。また、関東地区会が推薦する平成29・30年度の理事候補者について「選出については代表幹事に一任願いたい。」と提案し、異議なく了承された。

議事に入り、まずJISA小脇一朗副会長・専務理事から、昨年秋に発表した「JISA Spirit—ソフトウェアで『!(革命)を』の具現化、働き方改革推進や中小・地域の飛躍のための基盤づくり、グローバル展開やスキルシフトの円滑化などのJISA事業の重点取組についての報告と、先日とりまとめられた「未来を展望する」委員会報告についての説明があった。

続いて経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 落合健氏から、IoT、ビッグデータ、AIによるデータ駆動型社会の到来について、先進的IoT産業モデルの創出や人材、セキュリティなど経済産業省が進めている情報政策の概要について説明があった。

休憩を挟んで、同志社大学特別客員教授・東京大学名誉教授 石浦章一氏による講演「いつまでも『老いない脳』をつくる10の生活習慣」が行われた。石浦氏はアルツハイマー病と認知症の違い、「老いない脳」をつくる生活習慣などについて分かりやすく解説した。

脳の老化を防ぐには、情報に振り回されず適正な食事をする、息が上がらない運動を週に2~3回30分くらいすること、適度のお酒は害にはならない、趣味を持つことや人とのコミュニケーションが大切、などと語った。



(赤尾)